

Data Exchange Ver.4.2.5

オペレーティングガイド

I. はじめに

データエクスチェンジの概要

必要なシステム構成

パッケージの内容

インストール手順

プログラムの起動／セットアップ

II. データエクスチェンジの操作

データエクスチェンジを起動する

メーターと接続しデータを受け取る

選択した記録を見る

データを印刷する

データを保存する

データエクスチェンジを終了する

III. DMシリーズ用部門管理

ピットニーボウズジャパン株式会社

I. はじめに

データエクスチェンジ (Data Exchange) の概要

ピツニーボウズ郵便料金計器の部門集計データをPC上に取り込み加工できるようにするアプリケーションです。

必要なシステム構成

Pentium または同等のプロセッサを搭載したパーソナルコンピューター
USB ポート

Microsoft Windows 95B(OSR2)/98SE/NT4.0(SP4 以上)/2000(SP2)/XP 日本語版。
オリジナルバージョンの Windows95、95A では使用できません。

10.5MB のディスク空きスペース

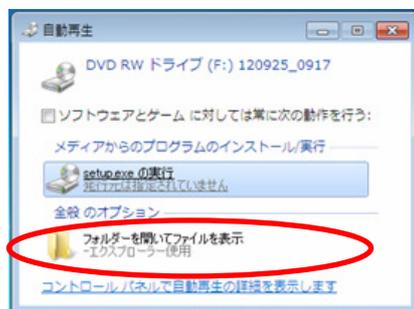
パッケージの内容

- Data Exchange アプリケーション CD-ROM 1 枚
- ユーザーガイド 1 冊
- 専用 USB ケーブル 1 本

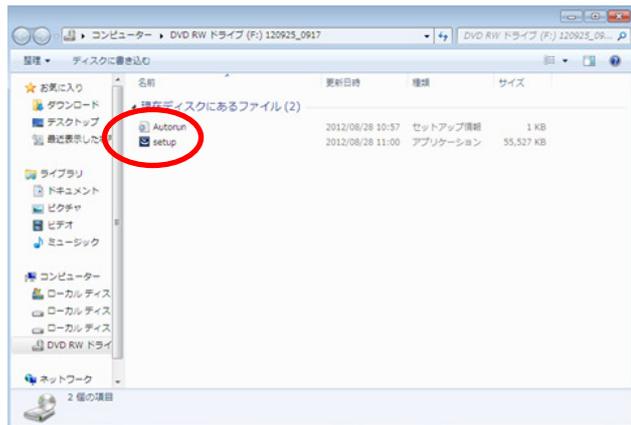
インストール手順

①Data Exchange Version 4.2.5 のインストール

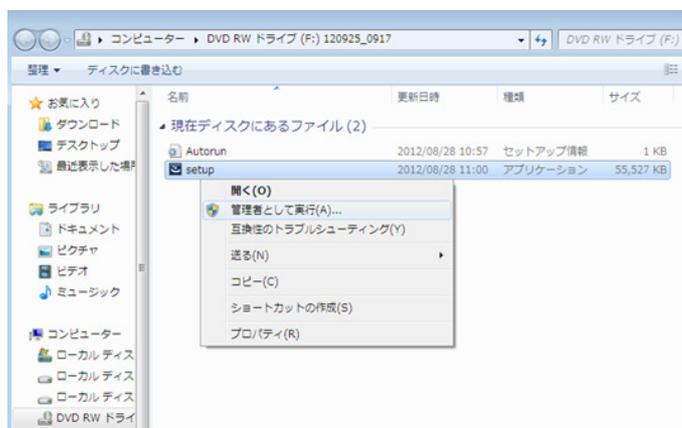
1. DataExchange を使用するパソコンを起動して、管理者アカウントでログインします。
2. Data Exchange Version 4.2.5 の CD を CD ドライブに挿入します。
3. 「自動再生」画面が自動表示された場合は、「フォルダーを開いてファイルを表示」をクリックします。自動表示されない場合は、エクスプローラー等で CD ドライブを開きます。
「自動再生」画面では「setup.exe の実行」はクリックしないようにしてください。インストールが正常終了しません。



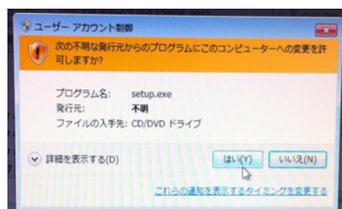
4. 下画面で、「setup」を右クリックします。



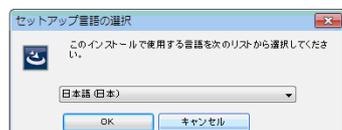
5. 「管理者として実行」をクリックします。



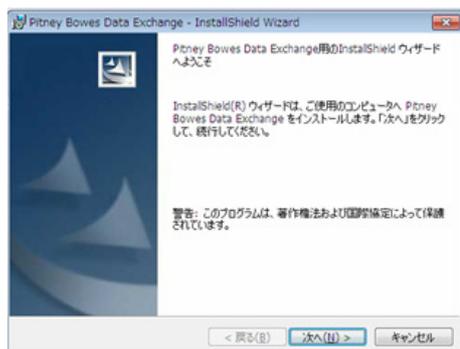
6. ユーザーアカウント制御の警告画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



7. 「セットアップ言語の選択」画面で、「日本語（日本）」を選択し「OK」をクリックします。



8. 下画面で、「次へ」をクリックします。



9. 使用許諾契約画面で、「同意します」にチェックを入れて、「次へ」をクリックします。



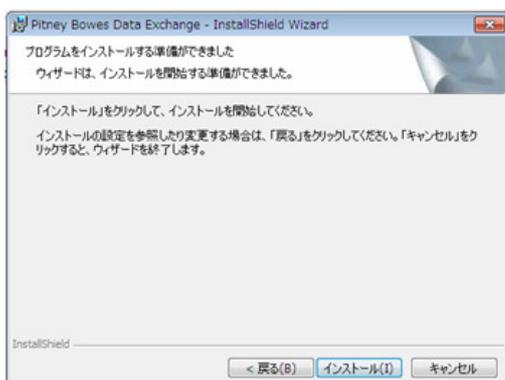
10. 使用するユーザー情報「ユーザ名」を入力します。続いて、「このアプリケーションを次のユーザに対してインストールします」欄で、該当する方にチェックを入れて、「次へ」をクリックします。



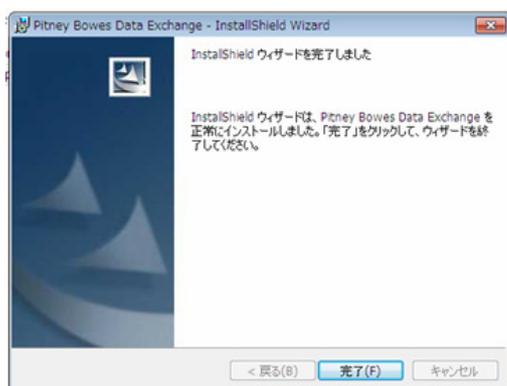
11. インストール先を確認し「次へ」をクリックします。変更する場合は「変更」をクリックし、インストール先を指定します。



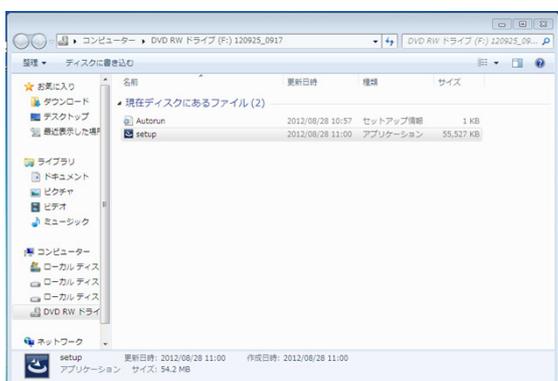
12. 下画面で「インストール」をクリックします。



13. 下画面で「完了」をクリックします。



14. 右上の「×」をクリックしてウィンドウを閉じます。

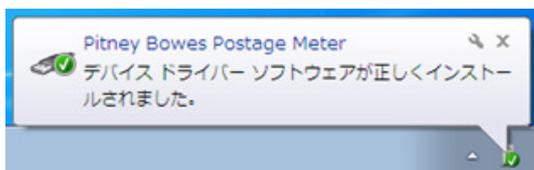


以上でインストール作業は終了です。

②Data Exchange Version 4.2.5 の起動及び動作確認

1. 管理者アカウントでログインします。

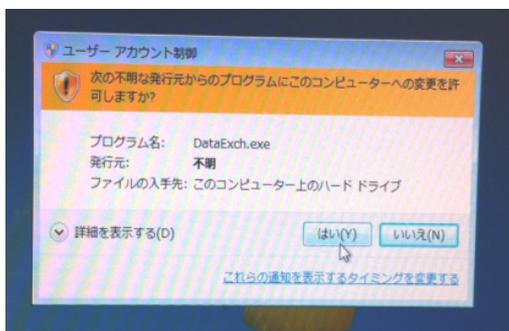
2. USB ケーブルもしくはシリアルケーブルで、集計を行う郵便料金計器とパソコンを接続します。ケーブルによってはドライバー等のインストールが必要な場合があります。ケーブル製造元のインストール方法に従ってください。また、USB 接続の場合は下のような画面が表示され、自動でドライバーソフトウェアがインストールされることを確認します。



3. 「Data Exchange」のアイコンを右クリックして「管理者として実行」をクリックして、Data Exchange を起動します。



4. ユーザーアカウント制御の警告画面で「はい」をクリックします。



5. Data Exchange がエラー表示等が無く、正常に起動することを確認します。



6. 「プログラム」→「セットアップ」→「ポート」をクリックし、接続している該当のポート（USB or COMポート番号）を設定します。「選択されたポート」欄で選択後、「適用」をクリックします。「OK」をクリックします。



7. 「選択」 → 「メーター」 → 「取り込みと保存」 をクリックして郵便料金計器の集計データが取り込めることを確認します。



8. 標準ユーザーアカウントで使用する場合は、一旦ログオフし、標準ユーザーアカウントでログインします。

9. 「Data Exchange」のアイコンをダブルクリックして Data Exchange が正常起動することを確認します。
この時に「C:\XXXXXXXX\Pitney Bowes Tools\Data Exchange\DataExch.mdb」を開くことができませんでした。ほかのユーザーが排他的に開いているか、データを読み取る権限がありません。」の表示が出た場合は、次ページからの「3. 標準ユーザーアカウント使用時に警告メッセージが表示した場合の対処方法」の作業を実施してください。正常起動した場合は手順「10.」へ。

10. 「プログラム」 → 「セットアップ」 → 「ポート」 をクリックし、接続している該当のポート（USB or COM ポート番号）を設定します。

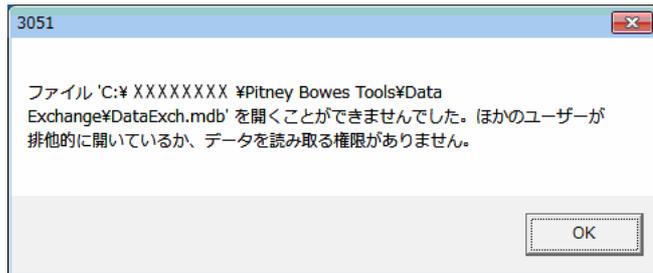
11. 「選択」 → 「メーター」 → 「取り込みと保存」 をクリックしてメーターの集計データが取り込めることを確認します。

③標準ユーザーアカウント使用時に警告メッセージが表示した場合の対処方法

標準ユーザーアカウントでDataExchange を起動した場合に、下画面のように「C:¥XXXXXXXX¥Pitney Bowes Tools¥Data Exchange¥DataExch.mdb」を開くことができませんでした。ほかのユーザーが排他的に開いているか、データを読み取る権限がありません。」が表示される場合があります。

この時の「C:¥XXXXXXXX¥Pitney Bowes Tools¥Data Exchange¥DataExch.mdb」の情報が、この後の作業で必要になりますので、メモ等に記入しておいてください。

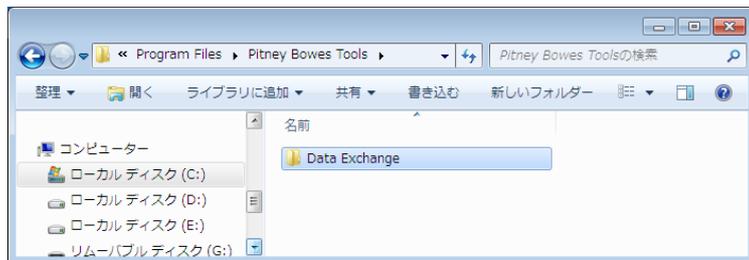
(「C:¥XXXXXXXX¥…」の部分は OS 環境、インストール先等により異なります。)



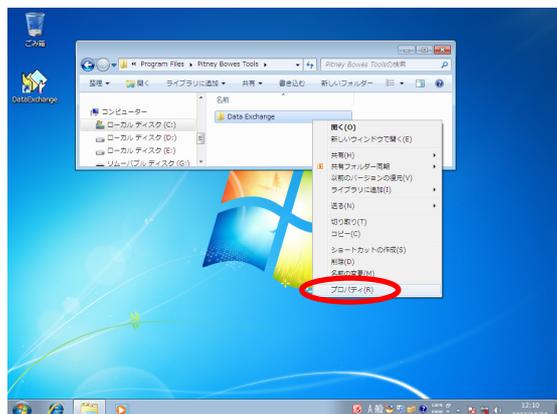
この警告メッセージが表示した場合は、下記手順でユーザー権限で DataExch.mdb ファイルが格納されている DataExchange フォルダのアクセス許可設定を行う必要があります。

DataExchange を起動した場合に、上画面が表示されない場合は、下記アクセス許可設定を行う必要はありません。

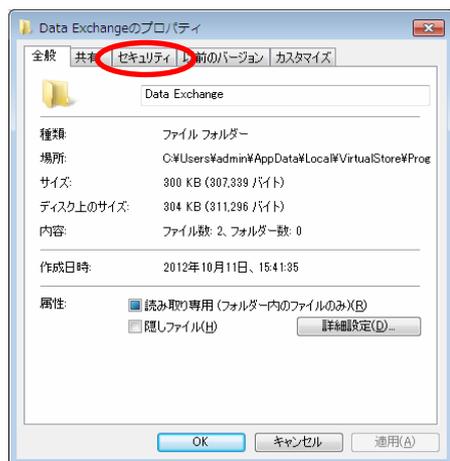
1. 管理者アカウントでログインします。
2. エクスプローラー等を開き、上画面表示でメモ等に記入しておいたフォルダ「C:¥XXXXXXXX¥Pitney Bowes Tools」を開きます。
3. 下画面の表示になります。



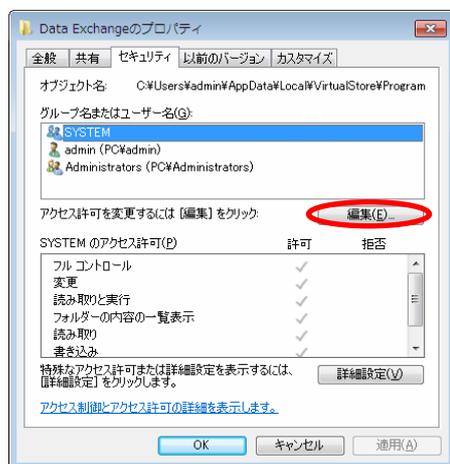
4. 「DataExchange」フォルダを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



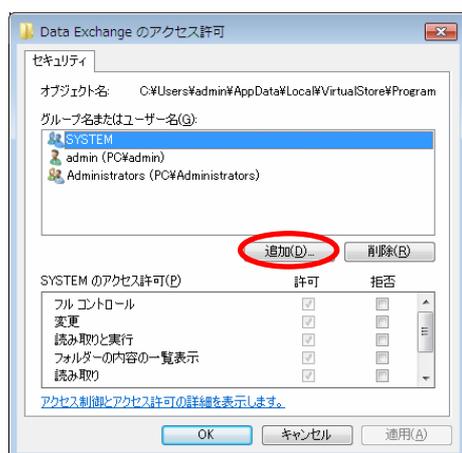
5. プロパティが開いたら「セキュリティ」タブをクリックします。



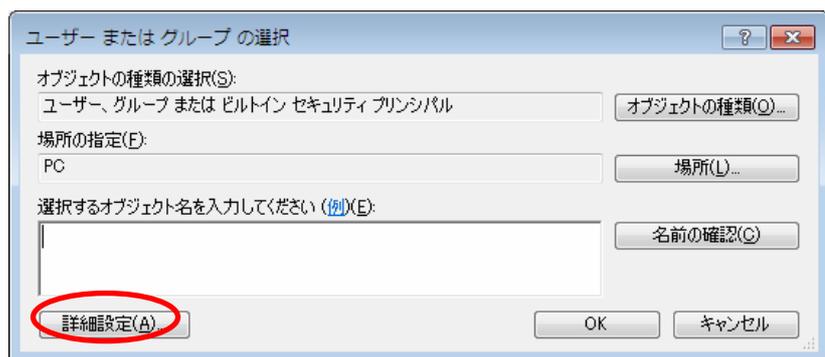
6. 「編集」をクリックします。



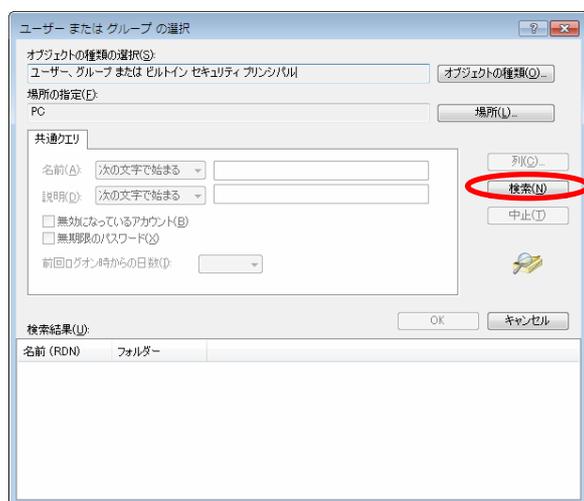
7. 「追加」をクリックします。



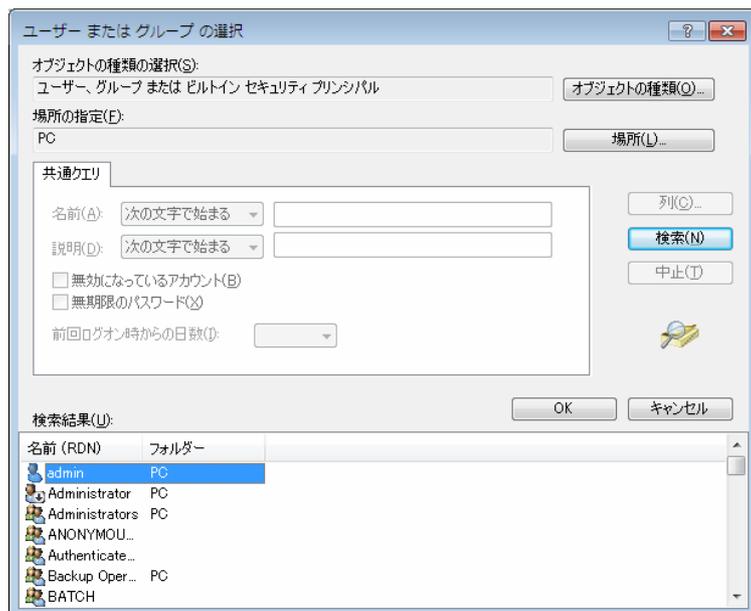
8. 「詳細設定」をクリックします。



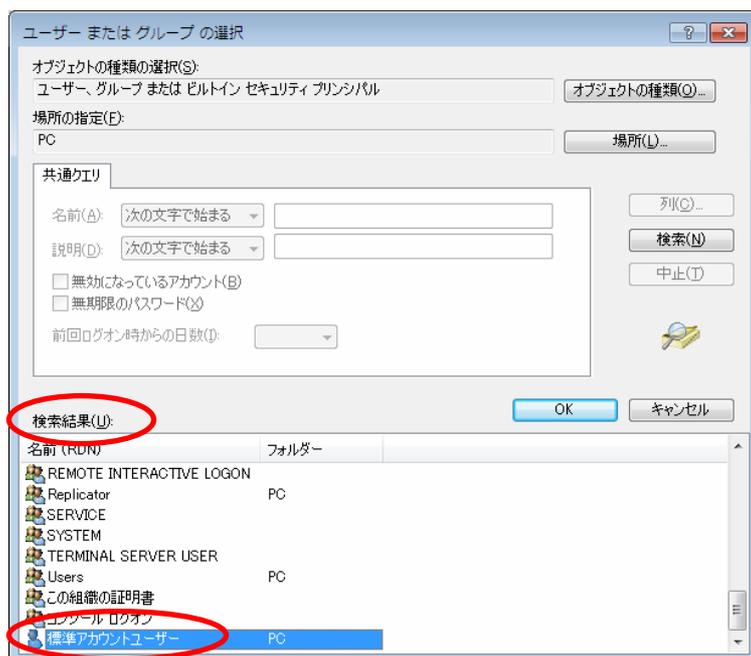
9. 「検索」をクリックします。



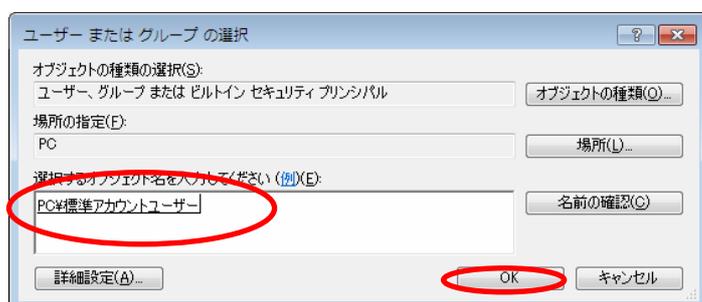
10. 下のよう画面が表示されます。



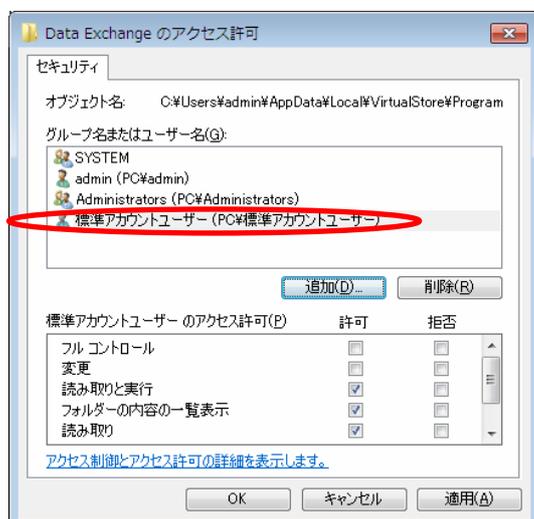
11. 「検索結果」の欄から、Data Exchange の使用を許可するユーザーの名前を選択します。下画面の場合は「標準アカウントユーザー」。「OK」をクリックします。



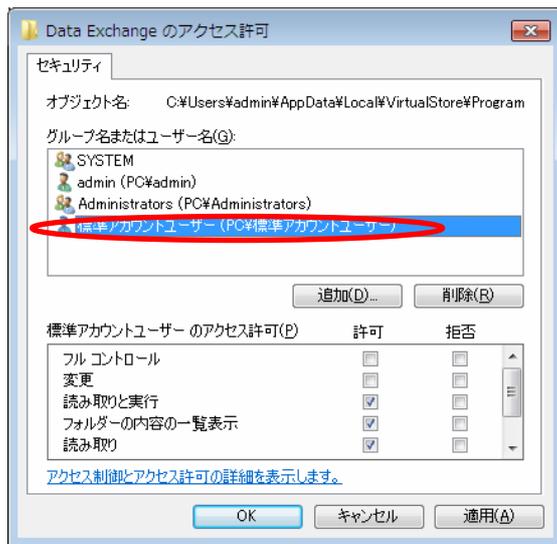
12. 「ユーザー または グループ の選択」画面で「選択するオブジェクト名を入力してください」欄に、ユーザー名が表示されていることを確認します。「OK」をクリックします。



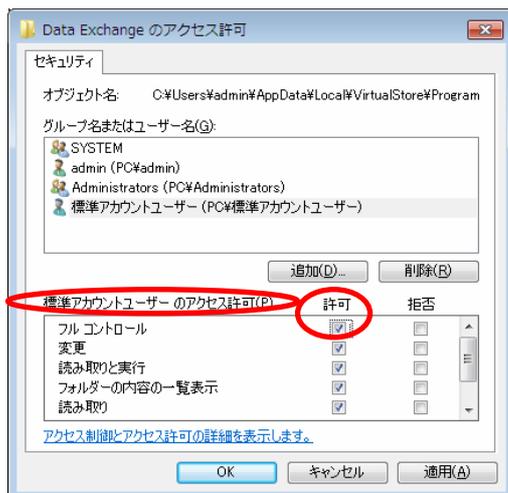
13. 「DataExchange のアクセス許可」の画面で、「グループ名またはユーザー名」欄に、Data Exchange の使用を許可するために設定したユーザー名が表示されていることを確認します。



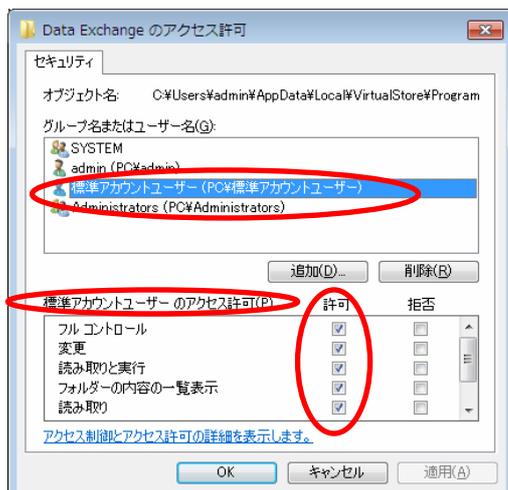
14. Data Exchange の使用を許可するために設定したユーザー名を選択します。



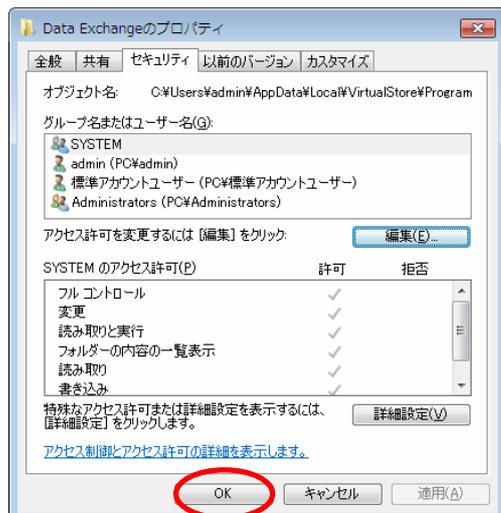
15. 画面下の「(選択したユーザー名)のアクセス許可」欄で「フルコントロール」の「許可」にチェックを入れ、「適用」をクリックします。



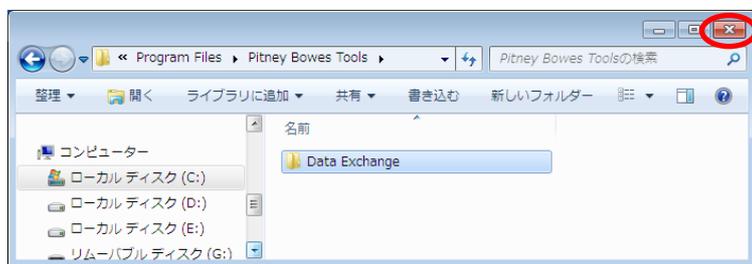
16. 「グループ名またはユーザー名」欄で、今回設定したユーザー名を再度選択し、「(選択したユーザー名)のアクセス許可」欄で「フルコントロール」にチェックが入っていることを再度確認し、「OK」をクリックします。



17. 「DataExchange のプロパティ」画面で「OK」をクリックします。



18. 開いているウィンドウを右上の「X」をクリックして閉じます。



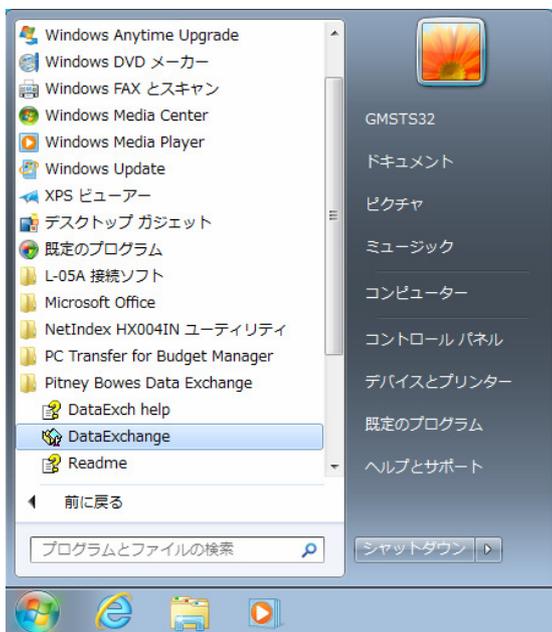
19. 標準ユーザーアカウントでログインし直し、エラー無く Data Exchange が起動することを確認します。

20. 「プログラム」→「セットアップ」→「ポート」をクリックし、接続している該当のポート（USB or COM ポート番号）を設定します。

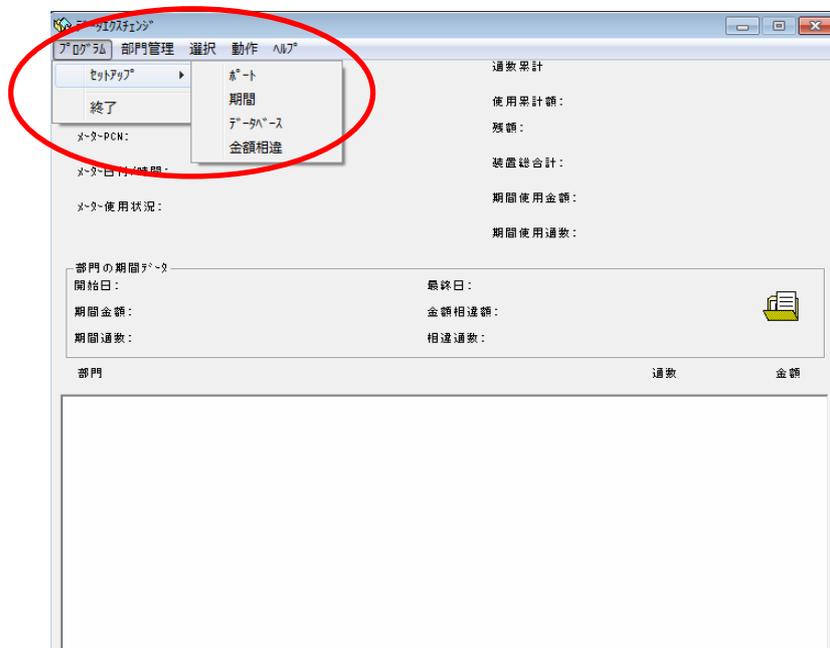
21. 「選択」→「メーター」→「取り込みと保存」をクリックしてメーターの集計データが取り込めることを確認します。

Data Exchange プログラムの起動

- PC のデスクトップ画面から、「スタート  」⇒「プログラム」⇒「Pitney Bowes Data Exchange」⇒「Data Exchange」を開きます。



プログラムが起動されるので、まずセットアップを行います(先のテストで設定されている場合は確認となります)。



① ポート

専用シリアルケーブルを接続した PC 側のポート番号を選択します。通常 DM100/DM100S/DM300 c / DM400 c は[USB1]、DM400(K)/500(K)/550(K)/800(K)/1000(K)は[COM1]で設定します。(お客様の PC により、COM2 以降の番号に設定する場合があります)。

② 期間

[はい]—メーターと接続し、「選択」⇒「メーター」—「取り込みと保存」ボタンを押すたびに、期間集計通数と金額が表示・保存されます。メーター内の集計データは自動クリアされます。「取り込みのみ」を行った場合には画面に集計データが表示されるだけです。保存もされず、自動クリアもされません。

[いいえ]—月に一回集計すれば月計になりますが、日計としてのデータを見ることができません。小計カウンターは必要な時にクリアするので、メーター側でマニュアルクリアするか、PC側で日計のファイルを作っていく必要があります。

③ データベース

データエクステンションではデータ取り込み後、ある一定期間データを保持します。

この期間を1から60か月まで設定できます。ここで設定した期間を超えるデータを「動作」⇒「ツール」⇒「データベース」でクリアすることが出来ます。

各設定終了後、「OK(O)」をクリックするとセットアップが完了します。

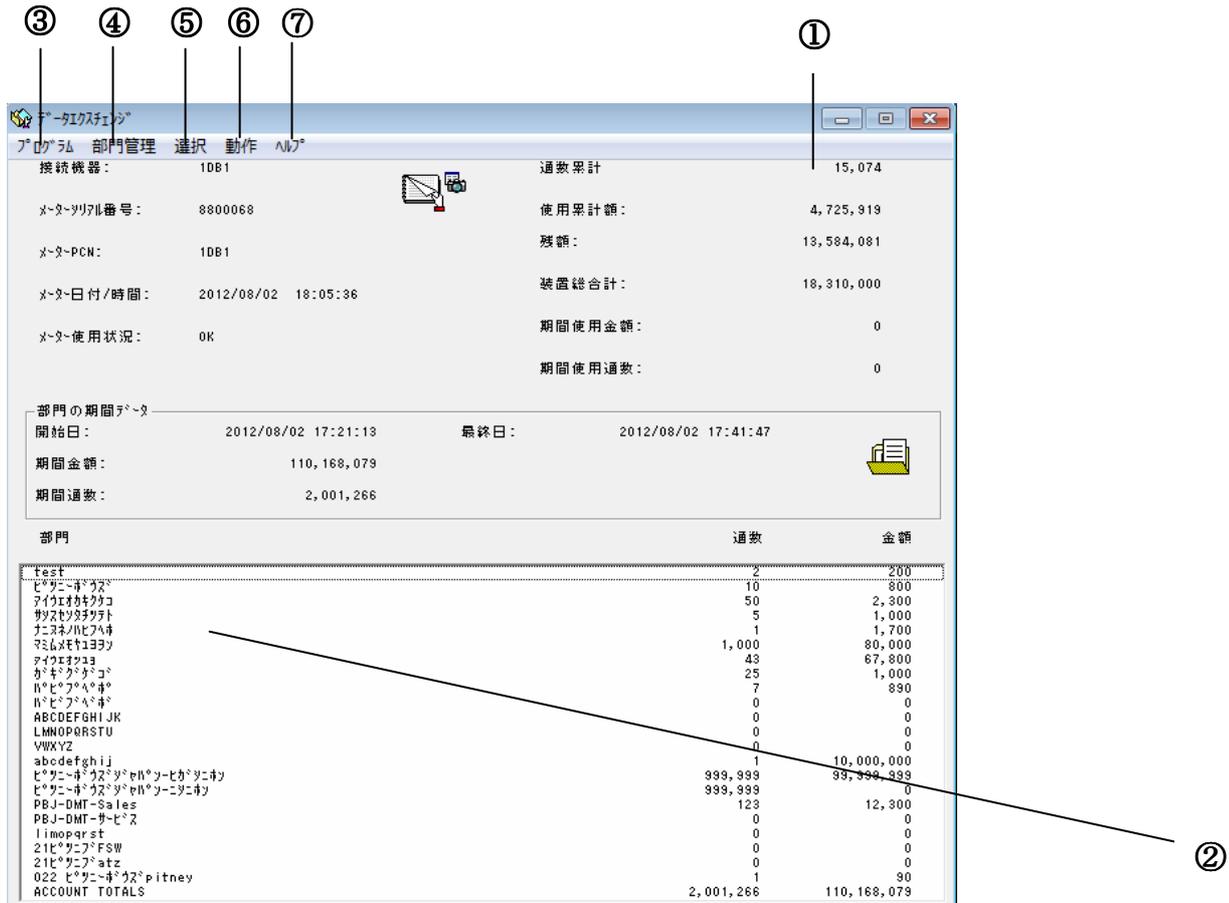
④ 金額相違

「部門合計」「期間使用金額」「金額相違額」の名称を変更する際、ここで入力します。

「金額相違額」とは差額が出た場合に計上される項目です。

ご使用にあたっての注意

- ・このソフトウェアおよびマニュアルの複製を禁じます。
- ・ケーブルは必ず専用の物をお使いください。



③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ①

プログラム 部門管理 選択 動作 ヘルプ

接続機器: 10B1 通数累計 15,074

メータ-シリアル番号: 8800068 使用累計額: 4,725,919

メータ-PCN: 10B1 残額: 13,584,081

メータ-日付/時間: 2012/08/02 18:05:36 装置総合計: 18,310,000

メータ-使用状況: OK 期間使用金額: 0

期間使用通数: 0

部門の期間メータ

開始日: 2012/08/02 17:21:13 最終日: 2012/08/02 17:41:47

期間金額: 110,168,079

期間通数: 2,001,266

部門	通数	金額
test	2	200
ピタニー・ボウズ	10	800
アイエフケイコ	50	2,300
サウス・ウエスト	5	1,000
パース/ヒル	1	1,700
マシム・キヨフ	1,000	80,000
アイエフケイ	43	67,800
カキコ・ケイ	25	1,000
Hピタニー	7	890
Hピタニー	0	0
ABCDEFGHIJK	0	0
LHNOPQRSTU	0	0
VWXYZ	0	0
abcdefghijkl	1	10,000,000
ピタニー・ボウズ・メータ・サービス	999,999	99,999,999
ピタニー・ボウズ・メータ・サービス	999,999	0
PBJ-DMT-Sales	123	12,300
PBJ-DMT-サービス	0	0
limopqrst	0	0
2ピタニーFSW	0	0
2ピタニーatx	0	0
022 ピタニー・ボウズ・pitney	1	90
ACCOUNT TOTALS	2,001,266	110,168,079

②

- ① メーターデータ画面・・・・・・・・・・選択したメーターの累計通数、累計金額等の情報を表示します。
- ② 部門集計データ画面・・・・・・・・・・部門毎の使用通数と使用金額を表示します。
- ③ プログラム・・・・・・・・・・1) セットアップ前ページにて説明しています。
2) 終了—Data Exchange を終了する際に選択します。
- ④ 部門管理・・・・・・・・・・DM100/100S/300c/400c・DM シリーズの集計情報取り込み、部門入力、集計データの入力等を行います。
- ⑤ 選択
- 1) 「記録」—過去に保存したデータを復帰させることができます。メーターシリアルナンバーといつのデータかを選択し、OK ボタンを押します。すると選択したデータが画面に表示されます。
 - 2) メーター—「取り込みのみ」—メーターのデータを PC に取り込みます。画面上に集計データが表示されるので、保存の必要があれば「動作」⇒「保存」⇒「ファイルへ保存」を選択します。
 - ・「取り込みと保存」—メーターのデータを PC に取り込むと同時に記録します。記録されたデータは後で自由に復帰させることができます。
- 「取り込みのみ」「取り込みと保存」のどちらかを選択すると、メーターからデータを取り込みます。

⑥ 動作

1) 「印刷—プリンターへ」—画面に表示された集計データをプリントアウトする際に使用します。

2) 「保存—ファイルへ保存」—取り込んだデータを保存します。

ファイル形式は **Microsoft Excel97**

Microsoft Excel95

CSV

TSV

Text File

DBF4

の 6 種類の中から選択できます。

3) 「コピー—クリップボードへコピー」—取り込んだデータをクリップボードへコピーします。

Word 等への貼り付けを行うことが可能です。

4) 「ツール—データベースのクリア」—データ保持期限以前のデータをすべてクリアします。

⑦ ヘルプ

1) 「ヘルプ」—**Data Exchange** のアイコンの説明を表示します。

2) 「トピックス」—**Data Exchange** のヘルプメニューを表示します (現状英語表記)

3) 「データエクスチェンジについて」—**Data Exchange** のバージョンを表示します。

II. データエクスチェンジの操作

データエクスチェンジを起動する

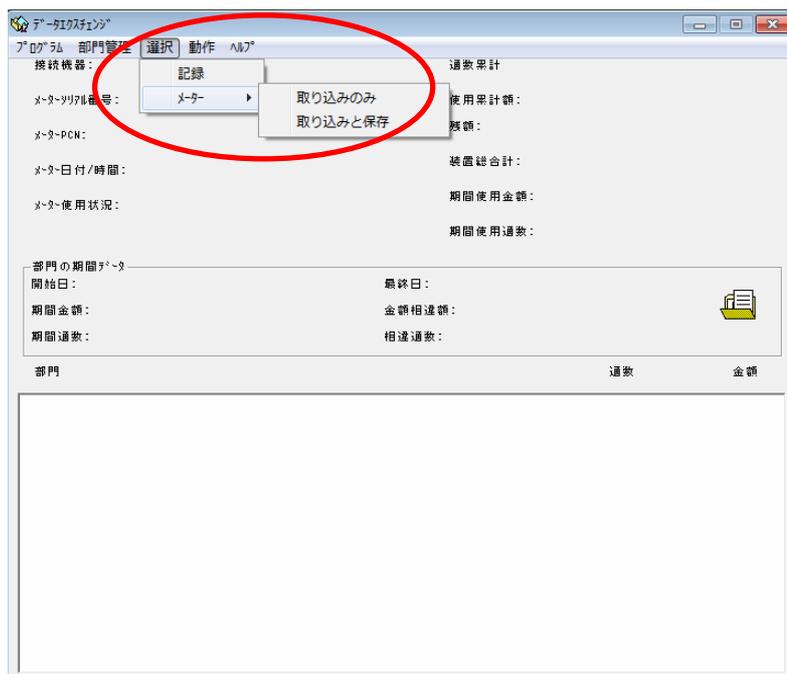
- ・メーリングマシンとPCが専用ケーブルで接続されていることを確認します。
- ・PCのデスクトップ画面から「スタート  」⇒「プログラム」⇒「Pitney Bowes Data Exchange」⇒「Data Exchange」を開きます。

メーターと接続しデータを受け取る

初期画面から、「選択⇒メーター」をクリックします。下の画面が表示されますので、「取り込みのみ」か「取り込みと保存」のどちらかを選択します。

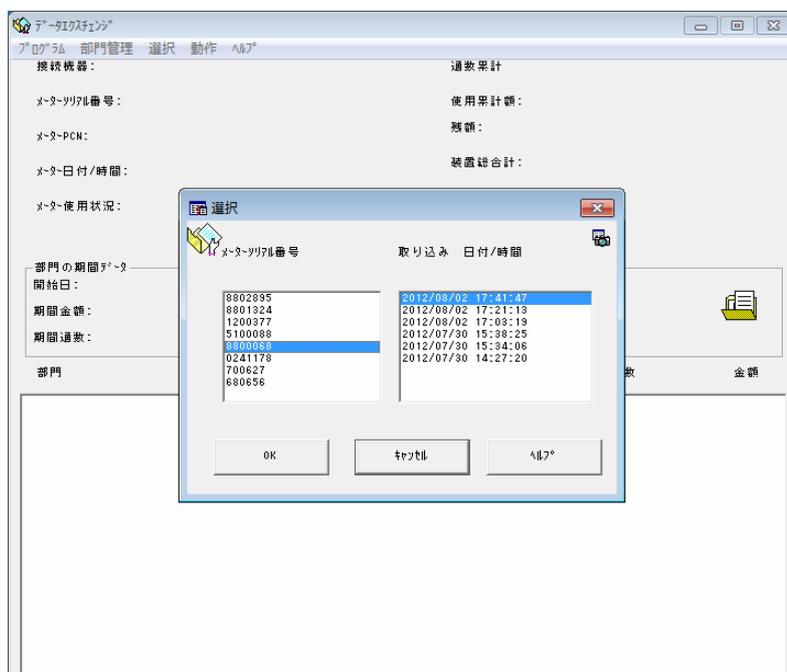
- ・取り込みのみ—メーターのデータをPCに取り込みます。画面上に集計データが表示されるので、保存するのであれば「動作⇒保存⇒ファイルへ保存」を選択します。
- ・取り込みと保存—メーターのデータをPCに取り込むと同時に記録します。記録されたデータは後で自由に復帰させることができます。

※ 「取り込みのみ」「取り込みと保存」のどちらかを選択すると、メーターからデータを取り込み、画面に表示します。



選択した記録を見る

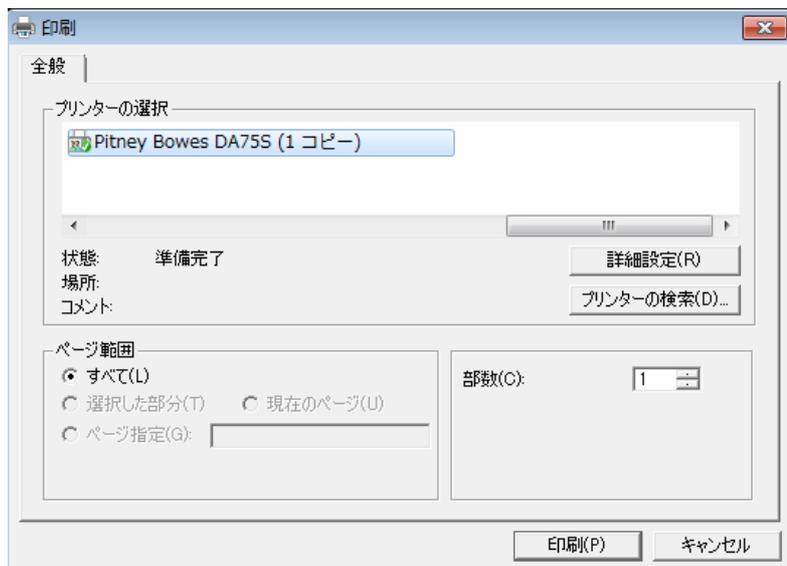
- ・ 「選択」 ⇒ 「記録」 を選択します。
- ・ 「メーターシリアル番号」 を選択します。
- ・ 「取り込み 日付/時間」から見たいデータを選択します。データはメーターからデータを受け取った(「取り込み」又は「取り込みと保存」をクリックした) 日時が降順で表示されます。
- ・ 「OK」 をクリックします。



- ・ 画面上に選択したメーターのデータが表示されます。

データを印刷する

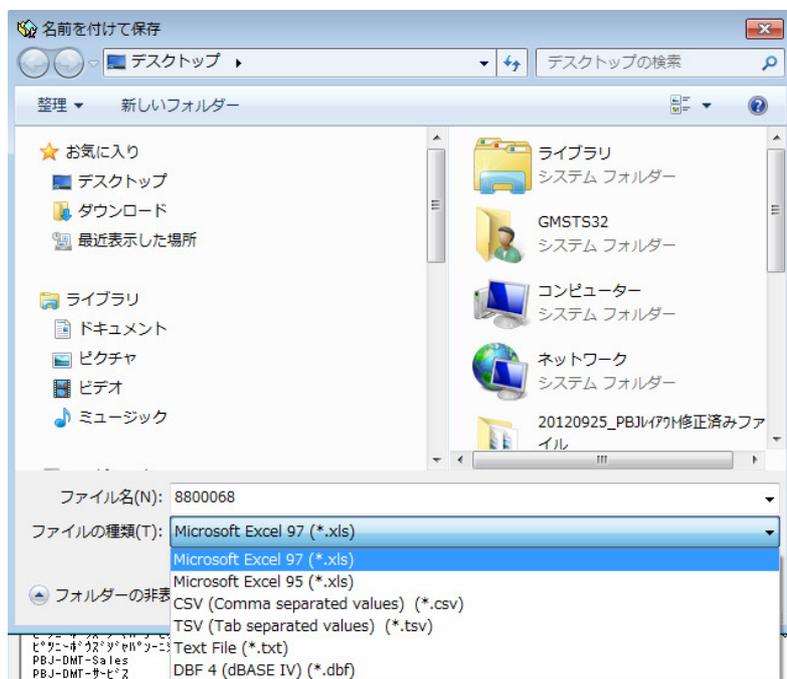
- ・ 「動作」 ⇒ 「印刷」 ⇒ 「プリンターへ」 をクリックします。



- ・ プリンターを選択し、「印刷」 をクリックすると選択したメーターの部門集計データがプリントされます。

データを保存する

- ・「動作」⇒「保存」⇒「ファイルへ保存」をクリックします。
 - ・「名前を付けて保存」ウィンドウで、ファイル名を付け、保存したいファイル形式を「ファイルの種類」から選択し「OK」をクリックします。選択できるファイルの種類には、Microsoft Excel97、Microsoft Excel95、CSV、TSV、Text File、DBF4 の 6 種類があります。



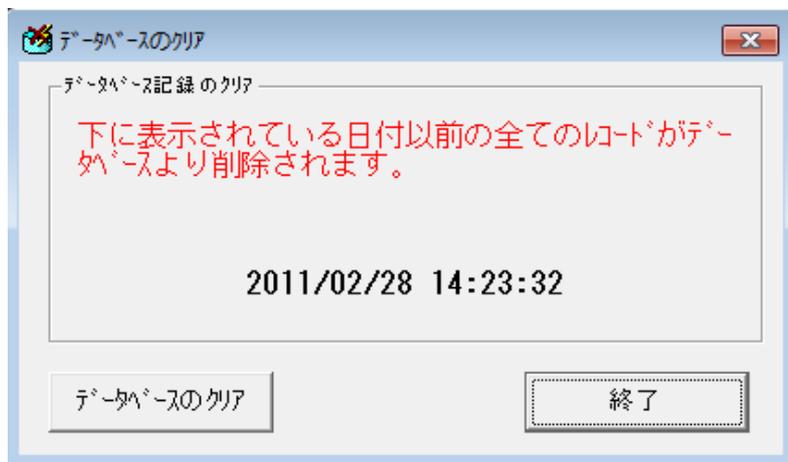
* 「ファイルへ保存」と「クリップボードへコピー」の違い

「ファイルへ保存」は、メーターのデータをテキストファイルや CSV 形式に変換して保存するため、EXCEL や ACCESS などのアプリケーションでファイル処理することが可能です。一方、「クリップボードへコピー」の場合は、データエクスチェンジで取り込んだデータイメージを画面にそのまま貼り付けるだけです。あとでデータを何らかの形で加工処理する場合は、「ファイルへ保存」の方が利用範囲が広いと言えます。

接続機器:	P7B0	
メーターシリアル番号:	119997	
メーター PCN:	P7B0	
メーター 日付/時間:	2004/08/19	14:51:19
メーター使用状況:	OK	
通数累計:	705	
使用累計額:	577,955	
残額:	32,045	
装置総合計:	610,000	
開始日:	2004/08/19	14:11:55
最終日:	2004/08/19	14:20:34
期間使用通数:	29	
期間使用金額:	3,835	
ソウム	4	320
ケイ	2	240
エイキョウ	2	560
ビツニ-	0	0
マーケティング	4	400
ジンジ	3	270
キシユツ	1	1,200
サブライ	0	0
ブツリユウ	13	845
ヒンヨ	0	0
ブモンゴウケイ	29	3,835

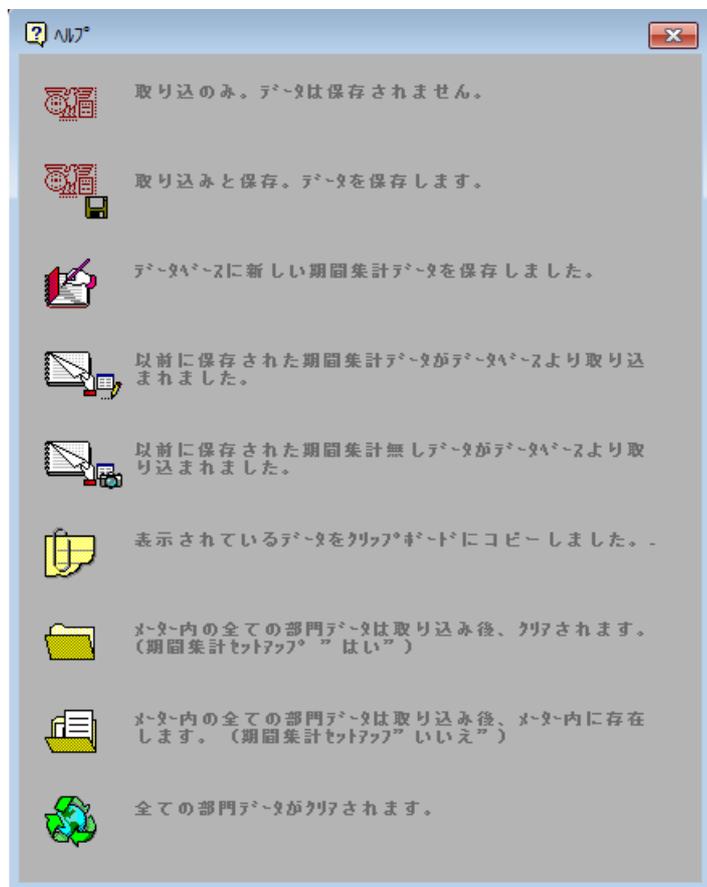
ツール

- 「動作」⇒「ツール」⇒「データベースのクリア」をクリックし、「クリア」を選択するとデータ保持期限以前のデータをすべてクリアします。



ヘルプ

- 「ヘルプ」⇒「ヘルプ」をクリックすると、データエクスチェンジ画面上に表示されるアイコンの説明一覧を表示します。



トピックス

「ヘルプ」⇒「トピックス」をクリックすると、Data Exchange のヘルプメニューが表示されます。ただし、現在は英文表記になっています。

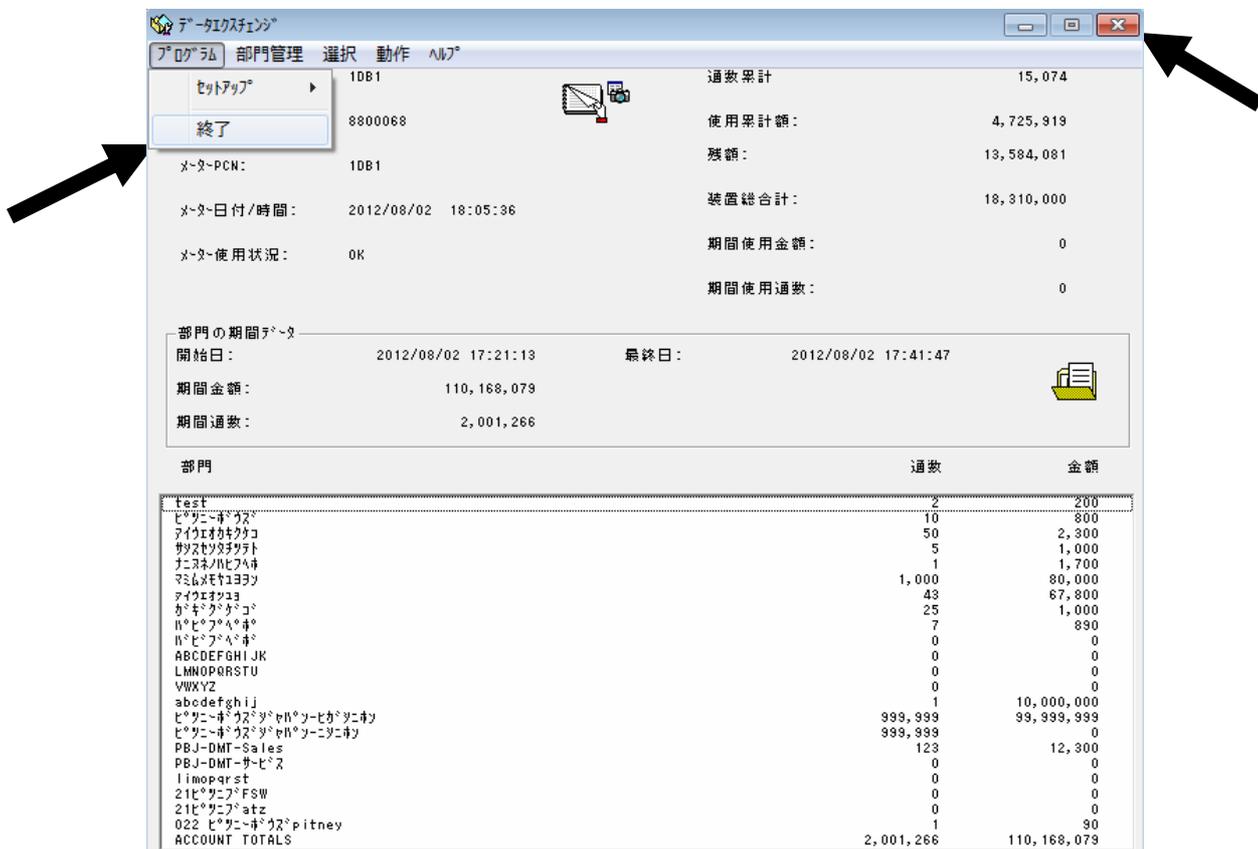
データエクスチェンジについて

「ヘルプ」⇒「データエクスチェンジについて」をクリックすると、Data exchange のバージョンを表示します。



データエクスチェンジを終了する

「プログラム」⇒「終了」をクリックするか、データエクスチェンジウィンドウ画面右上隅の  「閉じる」ボタンをクリックします。



The screenshot shows the main Data Exchange window. The 'プログラム' (Program) menu is open, and the '終了' (End) option is highlighted. A black arrow points to this menu item. Another black arrow points to the close button (X) in the top right corner of the window. The window displays various statistics and a departmental summary table.

部門	通数	金額
test	2	200
ピロギニキウズ	10	800
アイウオカクコ	50	2,300
サシセツヌナニ	5	1,000
ヒコホヘパチ	1	1,700
マミムメモヨヲ	1,000	80,000
アイオウクス	43	67,800
カキクケコ	25	1,000
ヒビフアキ	7	890
ABCDEF GHI JK	0	0
L M N O P Q R S T U	0	0
V W X Y Z	0	0
ab c d e f g h i j	1	10,000,000
ピロギニキウズピロギニキウズ	999,999	99,999,999
ピロギニキウズピロギニキウズ	999,999	0
PBJ-DMT-Sales	123	12,300
PBJ-DMT-サービス	0	0
l i m o p q r s t	0	0
21ピロギニキウズFSW	0	0
21ピロギニキウズatz	0	0
022 ピロギニキウズpitney	1	90
ACCOUNT TOTALS	2,001,266	110,168,079

Ⅲ. DMシリーズ用部門管理

DM100/100S/DM300c/DM400c/DM シリーズにて部門集計情報の取り込み・部門作成・部門削除・部門名の変更・データクリア・データ設定等を行うことができます。



部門の期間:

開始日: 2012/08/02 17:21:13 最終日: 2012/08/02 17:41:47

期間金額: 110,168,079

期間通数: 2,001,266

部門	通数	金額
test	2	200
ビザンチン	10	800
アイランド	50	2,300
サウス	5	1,000
パース	1	1,700
マニラ	1,000	80,000
アイランド	43	67,800
カリフォルニア	25	1,000
ハワイ	7	890
インド	0	0
ABCDEFGHIJK	0	0
LMNOPQRSTU	0	0
VWXYZ	0	0
abcdefghij	1	10,000,000
ビザンチン	999,999	99,999,999
パース	999,999	0
PBJ-DMT-Sales	123	12,300
PBJ-DMT-サービス	0	0
limopqrst	0	0
21ビザンチンFSW	0	0
21ビザンチンatz	0	0
022 ビザンチンpitney	1	90
ACCOUNT TOTALS	2,001,266	110,168,079

部門管理－部門集計（DMシリーズ用）をクリックします。下の画面が表示されます。



部門集計 (DMシリーズ用)

部門集計ステータス:

部門集計タイプ:

レポートステータス:

使用部門数:

部門名:

大部門ID:

中部門/小部門:

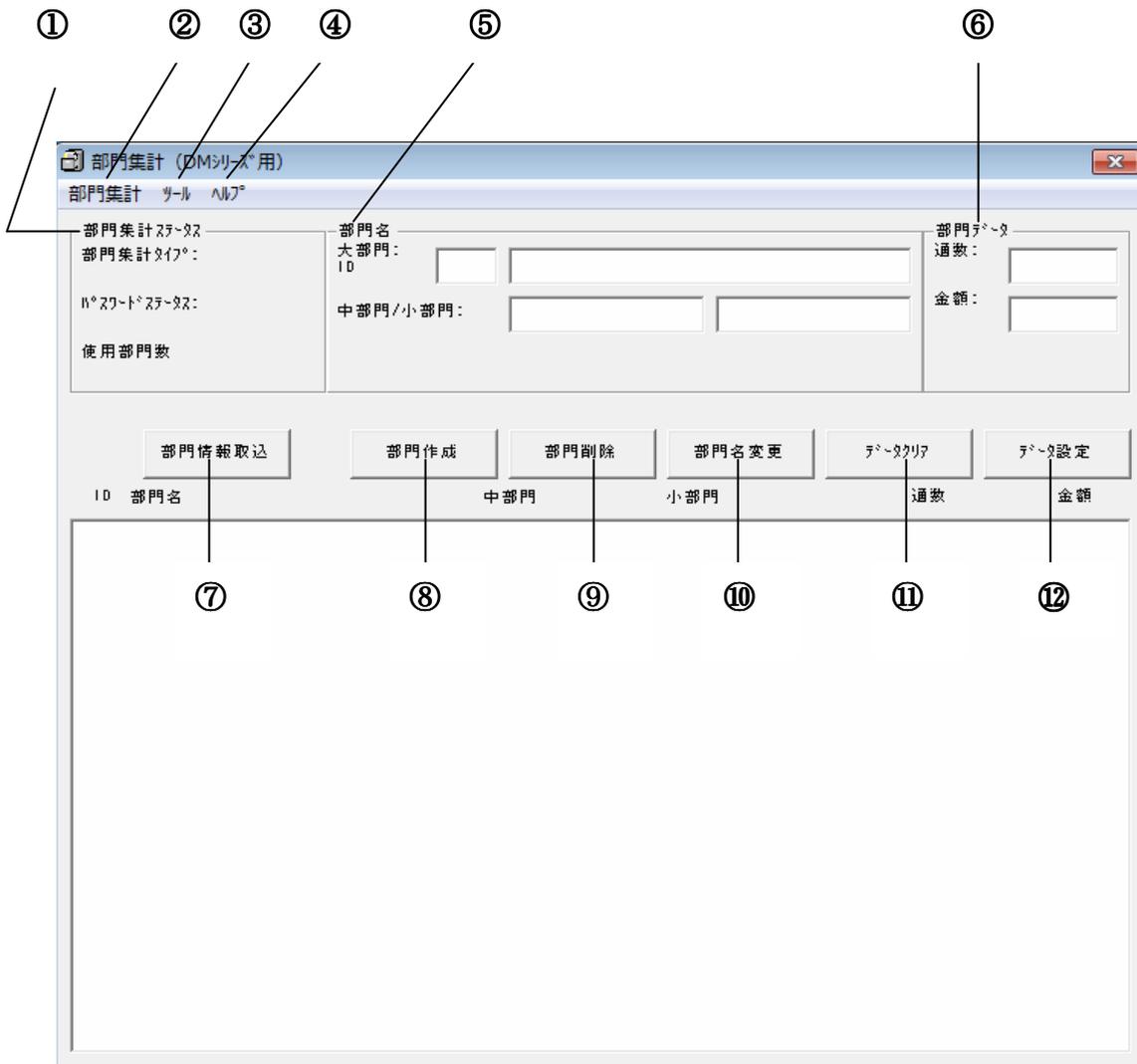
部門ステータス:

通数:

金額:

部門情報取込 部門作成 部門削除 部門名変更 データクリア データ設定

ID	部門名	中部門	小部門	通数	金額



① 部門集計ステータス

接続しているメーター部の集計タイプ、パスワードステータス、部門数を表示します。

② 部門集計

1) セットアップ

小数点設定—取り込んだ集計情報の表示小数点桁数を設定します。通常「#,###,##0」に設定します。この設定にしてから取り込みを行います。

2) 終了—部門集計（DM シリーズ用）画面を終了させます。

③ ツール

- ・ 小計データ計算—中小部門がある部門の小計を計算します。計算する部門を選択し（青く反転させる）、「小計データ計算」をクリックします。
- ・ 全部門情報クリア—全部門内容（使用通数・使用金額）をクリアします。
- ・ 全部門削除—全ての部門を削除します。
- ・ ファイルへ部門の保存—登録されている部門名を保存しておけます。
- ・ ファイルから部門の読み取り—保存した部門名をメーターに復帰させることが出来ます。

④ ヘルプ

Data Exchange のヘルプメニューを表示します。ただし、現在のところ英文表記になっています。

⑤ 部門名

部門作成、部門名変更を行う際にここに入力します。

⑥ 部門データ

選択した部門の通数情報・金額情報を表示します。ここでは更に任意の部門の使用通数、使用金額を入力できます。ただし、すでに通数データ・金額データが入っている部門にデータ設定をすることは出来ません。

⑦ 部門情報取込

メーター内の部門データ（使用通数、使用金額）を取り込み、画面に表示します。

⑧ 部門作成

「部門名」欄に大部門 I D（部門番号）、部門名、中部門名、小部門名を入力し、このキーをクリックすることにより部門が作成されます。（DM100/100S/300c/400c は部門名のみ入力可）

⑨ 部門削除

削除したい部門を選択し、このキーをクリックすることにより部門が削除されます。

⑩ 部門名変更

変更したい部門を選択し、「部門名」欄に新しい部門名を入力しこのキーをクリックすることにより部門名が変更されます。

⑪ データクリア

使用通数・使用金額をクリアしたい部門を選択し、このキーをクリックすることによりゼロクリアされます。

⑫ データ設定

部門を選択し、「部門データ」欄に通数と金額を入力後このキーを押すことによりデータが保存されます。ただし、既に通数データ・金額データが入っている部門にはデータ設定出来ません。

ピツニーボウズジャパン株式会社

本社	〒142-0041	東京都品川区戸越 1-7-1	戸越N I ビル	TEL03(5750)4111
仙台営業所	〒980-0804	仙台市青葉区大町 1-2-1	ライオンビル 7F	TEL022(227)0936
名古屋支店	〒460-0003	名古屋市中区錦 1-10-27	カネヨビル	TEL052(211)3241
大阪支店	〒541-0048	大阪市中央区瓦町 4-6-8	大阪化学繊維会館	TEL 06(6228)1901
福岡支店	〒810-0001	福岡市中央区天神 4-1-32	損保ジャパン福岡天神ビル 1F	TEL092(761)7444